

第4回 TAE 質的研究シンポジウム 開催のお知らせ

第4回 TAE 質的研究シンポジウムが開催されます。TAE (Thinking At the Edge) を中心に質的研究について議論します。事前予約不要です。皆様のご参加をお待ちしています。

日時：2018年3月1日(木) 13:30～16:30

会場：京都大学東京オフィス <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office>

(東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階 Tel 03-5252-7070)

参加費：1,200円 (TAE研究会会員・フォーカシングメンバー1,000円)

<第1部> (13:30～14:30)

開会の挨拶 (13:30～13:35) 総合司会：得丸さと子 (開智国際大学)

ラウンドテーブル (13:35～14:30) 質的研究の論文に分析過程をどこまで書くべきか

話題提供：

末武康弘 (法政大学)

村里忠之 (村里心理療法研究所)

高木亜希子 (青山学院大学)

コメント：得丸さと子 (開智国際大学)

フロアーとの質疑応答

<第2部> (14:30～15:00)

招待講演 (14:30～14:50)

高橋寛子「専門家養成に役立てる TAE—セラピスト養成」(山梨英和大学)

ディスカッション (フロアーを交えて) 専門家養成に役立てる TAE (14:50～15:00)

休憩 (15:00～15:10)

<第3部> (15:10～16:30)

研究発表 (15:10～15:55)

設楽馨「TAEを応用して記憶を見つけ、画像で表現する」(武庫川女子大学)

清水順子「日本語学校の日本語教師はどのような葛藤を抱えているのか—TAEを用いた質的研究—」(北九州市立大学)

小田友里恵「臨床心理実習のケースをTAEで分析して得られた気づき」(法政大学(院))

休憩 (15:55～16:00)

3件の発表に対する質疑応答 (16:00～16:20)

全体コメント (16:20～16:25)

諸富祥彦 (明治大学)

閉会の挨拶 (16:25～16:30) 得丸さと子 (開智国際大学)

* 書籍販売 『対話的コミュニケーションが生まれる国語』(溪水社) 坂本喜代子

主催：TAE研究会 (連絡先) TAE研究会事務局 taekouza@yahoo.co.jp 坂野加代子